

平成28年度調達改善計画の年度末自己評価の概要

計画内容（年間）

取組実績等

共通的な取組

一者応札・応募の改善

■一者応札・応募になった案件はアンケート調査又はヒアリングを実施し、一者応札等の改善に活用

■一者応札・応募になった案件はアンケート調査又はヒアリングを実施し、一者応札等の改善に活用するようルール化

電力調達の改善

■一般競争入札により契約を行うことで競争性を高め、調達コスト削減を目指す

■電力の調達コスト削減や温室効果ガス排出削減に向けて、裾切り方式による一般競争入札を5件実施
一般競争入札へ移行前の年度と比較可能なもの2件のうち、1件は約34万円(13.0%)の削減

重点的な取組

随意契約事前確認公募

■複数年度に亘り一者応札・応募となっている調達案件のうち、契約監視委員会等による検証の結果、特殊な技術等が不可欠であり特定の者だけが事業を実施し得ると見込まれるものについては「随意契約事前確認公募」を実施

■「随意契約事前確認公募」の実施に向け、手続きの具体的なルールを策定し周知。このルールに基づき、4件を一般競争入札等から随意契約事前確認公募へ移行

価格交渉

■調達先が特定されている一部の調達案件を対象に、価格の見積根拠等の精査を通じて、調達案件に適切な仕様及び価格となるよう努め、調達コスト削減に努める

■10件の随意契約について価格交渉を実施し、契約予定者が当初提示した価格から約1,274万円(6.0%)の削減
また、事例を省内内部部局及び外局等に対して情報共有することで、調達を実施する職員のスキルアップや、適切な仕様及び価格に対する意識の醸成に寄与

企画競争及び総合評価落札方式の適正な審査

■審査における公平性・透明性の確保の取扱いをホームページにおいて公表

■企画競争及び総合評価落札方式の審査に係る公平性・透明性の確保の取扱いについてホームページにおいて公表

庁費類(汎用的な物品・役務)の調達の見直し

■共同調達の実施(金融庁、会計検査院)
◇目標実施数:14類型のうち調達需要があった案件
◇共同調達を実施する案件について、比較可能な物品等を対象に対共同調達開始の前年度比1割程度の削減
■競り下げによる調達の実施
◇目標実施数:4類型のうち調達需要があった案件
◇競り下げ開始価格と比較して約1割程度の削減

■共同調達による調達改善の実施
◇共同調達の調達実績:10類型(残る4類型は調達需要なし)
◇対共同調達開始の前年度比約931万円(8.8%)の削減
■競り下げによる調達改善の実施
◇競り下げの調達実績:4類型11件
◇競り下げ開始価格と比較して約53万円(5.2%)の削減

継続的な取組

インターネット取引(クレジットカード決済)を活用した調達の実施

■インターネット取引(クレジットカード決済)を活用した調達を実施

■インターネット取引(クレジットカード決済)を活用した調達を26件実施し、手続きを効率化

◇目標の達成状況:平成28年度調達改善計画の取組については概ね計画どおり達成